

がんばかり版



若い世代も気をつけたい！乳がん・子宮頸がん

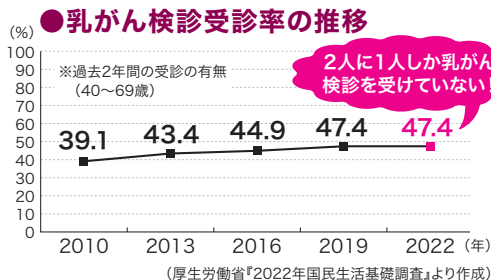
乳がんや子宮頸がんは、多くの女性がかかるがんで、働く世代にも身近な病気です。「まだ若いから大丈夫」と思っている、身体の中で少しずつ変化が起きているかもしれません。**3月1日～8日は「女性の健康週間」**。早期発見で未来の自分を守るために婦人科検診を受けてみませんか。

乳がん

9人に1人がかかる！

乳がんは日本で女性がかかるがんの第1位で、生涯で乳がんにかかる確率は9人に1人といわれています。

国は40歳以上の女性に2年に1回のマンモグラフィ検査の受診を推奨していますが、受診率は50%に満たない状況です。



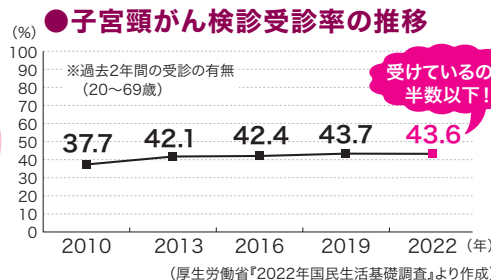
乳がん・
子宮頸がんは
定期的な検診で
早期発見
につながります！

子宮頸がん

20～30歳代での発症も多い！

子宮頸がんは30～40歳代で罹患率が高く、がんになる一歩手前の段階である「上皮内がん」を含めると、20～30歳代の若い世代での発症も多くみられます。

国は20歳以上の女性に2年に1回子宮頸がん検診の受診を推奨していますが、受診率は高くありません。



乳がん検診は店舗巡回検診、子宮がん検診は費用補助を行っています

次の方は毎年利用できます！

乳がん検診：35歳以上
子宮がん検診：20歳以上

店舗巡回乳がん検診を受診しましょう

35歳以上の当健保組合加入者は無料！※

店舗・事業所での乳がん巡回検診(マンモグラフィ検査)を行っています。就業時間内に受診できるので、わざわざ検診機関に行く必要がありません！マンモグラフィ検査では、しこりをつくる前のごく初期段階で乳がんを発見できます。必ず受診しましょう。

※被扶養者は店舗・事業所に勤めている方が対象です。
被扶養者は費用補助もご利用いただけます。



子宮がん検診費用補助をご活用ください

20歳以上の当健保組合加入者が対象

3,500円までの子宮がん検診費用補助を行っています。ご自身で医療機関を予約して受診してください。自治体による検診も自己負担分が費用補助の対象になります。

子宮がんについては巡回検診を行っておらず、受診率が大変低い状況です。自治体の検診を利用し、当健保組合の費用補助を併用すれば自己負担がないケースが多いので、ぜひ活用しましょう！



CHECK!

当健保組合の受診率

※被保険者・被扶養者が対象
※毎年受診可能な環境での数値

乳がん検診 2022年:52.9% 2023年:52.4% 2024年:51.2%

子宮がん検診 2022年:1.5% 2023年:1.6% 2024年:1.6%

詳しくはこちら

健保組合ホームページ ▶ 検診費用補助制度



ascure卒煙プログラム

今年度は
まもなく
終了

2026年2月28日(土)まで先着順にて受付中！

参加資格

当健保組合の加入者
※スマホでアプリを利用できる方

参加費用

通常59,400円のところ…
0円 当健保組合が費用を全額負担します
※通信等にかかる費用は除く



詳細は
こちら

禁煙
説明文

アプリ
ダウンロード

公示

2026年度 任意継続被保険者の算定基礎となる
平均標準報酬月額
260,000円(改定)です。※昨年度は240,000円



健保組合のホームページをご覧ください。
<https://www.unygruppenpo.or.jp/>

ユニグループ健保

検索

個人向け
健康ポータルサイト

「MY HEALTH WEB」

重要 「医療費のお知らせ」の紙媒体での発行を行っていません！

医療費の確認や医療費通知データが必要な場合は、MY HEALTH WEBをご利用ください。



医療費控除の電子申告(e-Tax)用
医療費通知データは、

MY HEALTH WEBからダウンロードできます。

▼ログイン・
初回登録はこちら



▼PCからは
当健保組合の
ホームページ内
「MY HEALTH WEB」
バナーをクリック